

再企画

映画と講演

映画「100,000年後の安全」 (上映時間79分)

講演「行く当てのない核のごみ」

講師 高野 聡さん

2026年

11月7日(土)

茅ヶ崎市勤労市民会館
6階 A 研修室

①10:00 ②14:00

★詳しくは裏面

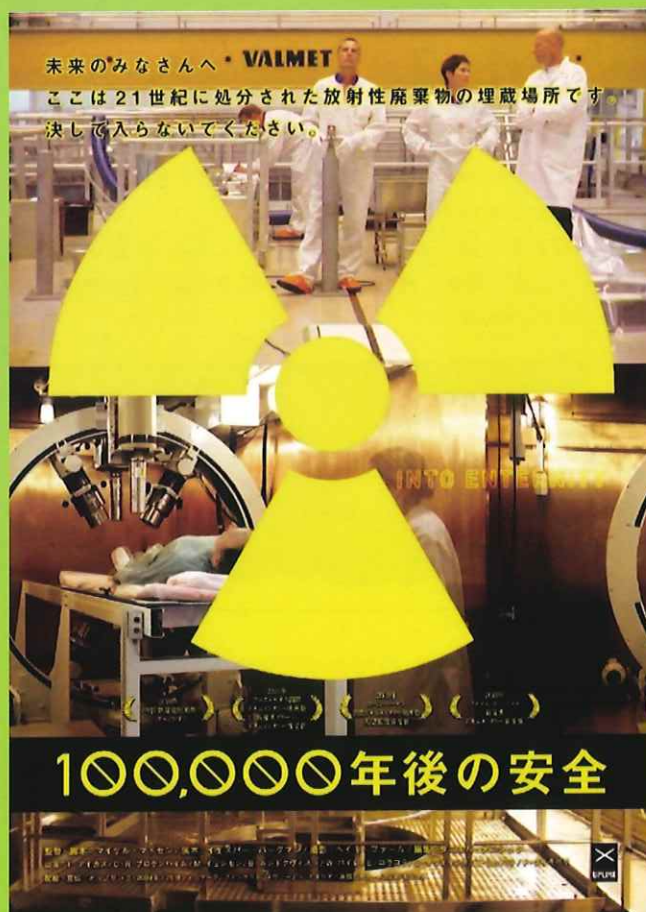
原発を動かせば、必ず出る核のごみ。
安全なレベルになるまでに、10万年
もかかるという核のごみ。
地震大国日本に、その最終処分場を作
る場所があるのでしょうか。



講師紹介

たかの さとし
高野 聡さん

横須賀出身。ソウル大学博士課程在籍。
原子力資料情報室にて、核ごみ問題を
担当。特定放射性廃棄物小委員会委員。
北海道寿都町、長崎県対馬市など核ごみ
問題関連地域に通い、現地住民の声を大
切にしている。





誰にも保障できない10万年後の安全。 放射性廃棄物の埋蔵をめぐって、 未来の地球の安全を問いかけるドキュメンタリー。

毎日、世界中のいたるところで原子力発電所から出される大量の高レベル放射性廃棄物が暫定的な集積所に蓄えられている。その集積所は自然災害、人災、および社会的変化の影響を受けやすいため、地層処分という方法が発案された。フィンランドのオルキルオトでは世界初の高レベル放射性廃棄物の永久地層処分場の建設が決定し、固い岩を削って作られる地下都市のようなその巨大システムは、

10万年間保持されるように設計されるという。廃棄物が一定量に達すると施設は封鎖され、二度と開けられることはない。しかし、誰がそれを保証できるだろうか。10万年後、そこに暮らす人々に、危険性を確実に警告できる方法はあるだろうか。彼らはそれを私たちの時代の遺跡や墓、宝物が隠されている場所だと思うかもしれない。そもそも、未来の彼らは私たちの言語や記号を理解するのだろうか。

圧倒的な映像美！ コンセプチュアル・アーティスト、 マイケル・マドセン監督作品。

コンセプチュアル・アーティストとしても活動する監督のマイケル・マドセン自らが、既に建設が進行中の施設に潜入し、このプロジェクトの実行を決定した専門家たちに、未来の子孫の安全性について問いかける。

圧倒的な映像美はまるで SF 映画のように、荒廃し人類が去った後の地球、機械だけが永遠に動き続ける地球の姿を映しているようだ。



未来のみなさんへ

ここは 21 世紀に処分された
放射性廃棄物の埋蔵場所です。
決して入らないでください。

あなたを守るため、
地中奥深くに埋めました。

放射性物質は大変危険です。
透明で、においもありません。

絶対に触れないで下さい。

地上に戻って、我々より良い
世界を作ってほしい。

幸運を。



映画「100,000 年後の安全」と講演「行く当てのない核のごみ」

- ・ 2026 年 11 月 7 日(土) 茅ヶ崎市勤労市民会館 6 階 A 研修室
 - ① 上映 10:00~11:30 講演 11:30~12:10
 - ② 上映 14:00~15:30 講演 15:30~16:10 (開場は各回 30 分前)
- ・ 参加費 : 予約 800 円 当日 1000 円 大学生以下無料
- ・ 予約・連絡先 : 090-9328-3799 (かめだ) ショートメール可
080-5643-8352 (こぬま) ショートメール可 / urufuriku@gmail.com (かめだ)
- 主催 : チームみつばち 協力 : ピースカフェちがさき